

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(4 年計画の 4 年目)

1. 研究課題

中国在家の教理と經典

Buddhist Sutras and Doctrines for Chinese Laity

2. 研究代表者氏名

船山 徹

Funayama Toru

3. 研究期間

2016 年 04 月 - 2020 年 03 月 (4 年度目)

4. 研究目的

四～七世紀頃の中国(劉宋・南齊・梁・陳・隋・唐)で仏教は様々な発展を遂げた。出家僧だけでなく文人等の在家信者が果たした役割も大きかった。出家者が学んだ經典や論書は現在の大藏經の全貌を理解することから知られるが、一方、在家者の仏教知識がどの程度のものだったか、それは出家社の理解と相違する点があったのか、在家者に共通の得手不得手があったか等の問いに答えることは予想以上に難しく、現在に至るまで確かな答えは得られていない。人文研ではかつて六朝隋唐時代の知識人や庶民の仏教を知るため、『肇論』『弘明集』等の会読が行われた。本研究班はその流れを継承しながら、多くの在家仏教徒の著作を収める道宣『広弘明集』(7世紀)を主な素材として、中国在家仏教の実態解明を目指す。

Various developments of Chinese Buddhism achieved during the 4th/7th centuries were led by not only monastics but also laity such as emperors and literati. Contrary to our normal expectation, however, it is difficult to answer to such questions as "How should we evaluate the quality of lay understanding of Buddhist doctrine?" "Are there any likes and dislikes of sutras and expertise for the laity?" Inheriting the merits of research seminars on Chinese religion formerly conducted in this institute, the present research seminar aims at a careful reading of the Expanded Collection for Glorifying and Elucidating the Law (Guang hong ming ji, 7th c.) and the like in order to clarify a concrete picture of lay Buddhism.

5. 本年度の研究実施状況

中国の南朝仏教における在家の活動を具体的に知るため、今年は『広弘明集』巻23 僧行篇の会説を集中的に行った。具体的には、謝靈運「曇隆法師誄」、謝靈運「慧遠法師誄」、張暢「若邪山敬法師誄」、闕撰人「南齊安樂寺律師智稱法師行状」、虞羲「廬山香鑪峯寺景法師行状」、沈約「南齊禪林寺尼淨秀行状」である。それぞれの分量に応じて1～5回に分け、適宜、原文校訂・現代語日本語訳・語注を作成した。

6. 研究成果の概要

最終報告書に記載

7. 本年度の研究実施内容

- 2019-04-19 謝靈運「曇隆法師誄」解説訳注作成(一) 発表者 古勝 隆一
- 2019-05-17 謝靈運「曇隆法師誄」解説訳注作成(二) 発表者 古勝 隆一
- 2019-05-30 謝靈運「慧遠法師誄」解説訳注作成 発表者 船山 徹
- 2019-06-21 張暢「若邪山敬法師誄」解説訳注作成 発表者 中村 慎之介 文学研究科
- 2019-07-05 闕撰人「南齊安樂寺律師智稱法師行状」解説訳注作成(一) 発表者 中西 竜也
- 2019-09-20 闕撰人「南齊安樂寺律師智稱法師行状」解説訳注作成(二) 発表者 中西 久味 新潟大学
- 2019-10-04 虞羲「廬山香鑪峯寺景法師行状」解説訳注作成(一) 発表者 船山 徹
- 2019-10-18 虞羲「廬山香鑪峯寺景法師行状」解説訳注作成(二) 発表者 船山 徹
- 2019-11-15 沈約「南齊禪林寺尼淨秀行状」解説訳注作成(一) 発表者 ウィッテルン, クリスティアン
- 2019-12-06 沈約「南齊禪林寺尼淨秀行状」解説訳注作成(二) 発表者 倉本 尚徳
- 2020-01-31 沈約「南齊禪林寺尼淨秀行状」解説訳注作成(三) 発表者 稲本 泰生
- 2020-02-21 沈約「南齊禪林寺尼淨秀行状」解説訳注作成(四) 発表者 趙 ウニル 京大 文学研究科
- 2020-03-06 沈約「南齊禪林寺尼淨秀行状」解説訳注作成(五)および総括 発表者 船山 徹

8. 共同研究会に関連した公表実績

二〇二〇年十二月刊行予定『東方學報』京都九五冊に訳注の成果を一部出版した。

9. 研究班員

所内

船山 徹、稲本 泰生、稲葉 穰、ウィッテルン、クリスティアン、古勝 隆一、中西 竜也、石垣 明貴杞、李 瑄

学内

趙ウニル(大学院文学研究科(非常勤講師))、中村 慎之介(文学研究科(院生))、上島 享(文学研究科)

学外

桐原 孝見(龍谷大学)、中西久味(新潟大学)、松岡寛子(仏教伝道教会)、村田みお(近畿大学)、中西 俊英(東大寺)、河上 麻由子(奈良女子大学)、山田 周(京都府立大学)

10. 共同利用・共同研究の参加状況

なし

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

なし

12. 費目の 30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由

なし

13. 次年度の研究実施計画

なし

14. 研究成果公表計画および今後の展開等

研究班で解読し内容の確定した訳注稿を、順次、『東方學報』京都において出版公開する。まず第1回として『同』九五冊(二〇二〇年十二月刊行予定)に訳注を公表する。

